令和6年度 東住吉区区政会議 第1回まちづくりビジョン部会

- 1 開催日時 令和6年6月5日(水) 18時30分～19時
- 2 開催場所 東住吉区役所 3階302会議室
- 3 出席者の氏名
(出席委員)
伊藤智美委員、井本啓二委員、小坪琢平委員、竹村匡己委員、田村愛子委員、堀江淳委員、丸川正吾委員、三原順一委員

(市会議員)
辻義隆議員、田辺信広議員、淵上浩美議員

(東住吉区役所)
藤原区長、村田副区長、杉浦総合調整担当課長、今西事業企画担当課長
- 4 議題
 - (1) まちづくりビジョンの推進に係る取組について
 - (2) その他

○杉浦総合調整担当課長

定刻となりましたので、ただいまより令和6年度東住吉区区政会議第1回まちづくりビジョン部会を始めさせていただきます。

私は総務課総合調整担当課長、杉浦と申します。よろしくお願いいたします。

まず、会議の成立要件について確認いたします。本日は委員の定数が12名のところ、7名のご出席をいただいています。

東住吉区区政会議開催要綱第6条第4項、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項により、委員定数の2分の1以上の出席がありますので、本会は有効に成立していることをご報告させていただきます。

本日の部会では、前回3月13日に「矢田南部のまちづくりについて」ご説明しました時にいただきましたご意見も踏まえまして、「まちづくりビジョンの推進に係る取組」について、担当から説明させていただきたいと考えております。

また、本日の部会は1時間から1時間半程度を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、本日ご出席いただいております、市会議員の皆様をご紹介させていただきます。

す。

渚上議員でございます。

○渚上議員

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○杉浦総合調整担当課長

田辺議員でございます。

○田辺議員

本日はよろしくお願いいたします。

○杉浦総合調整担当課長

ありがとうございました。それでは、会議に先立ちまして、東住吉区長藤原よりご挨拶を申し上げます。

○藤原区長

皆さんこんばんは。ご紹介いただきました区長の藤原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

皆さんには本日はご多忙のところ、区政会議第1回まちづくりビジョン部会に、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また平素は、区政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

皆さんはもうすでによくご承知のことでございますけれども、この区政会議は区の施策や事業につきまして、立案段階から、区民等の皆様の多様なご意見を把握させていただいて、これらに反映させるとともに、その実績なり評価について、ご意見をお聞きするということが目的として開催をしておるものでございます。

また当区におきましては、より専門的な意見交換を行いますため、本部会を含みます3つの部会を設けておるところでございます。

さきほど、司会からも申し上げましたけれども、まちづくりビジョン部会におきましては、前回の3月13日に矢田南部のまちづくりビジョンと、矢田教育の森公園におけるスポーツ施設の設置運営に向けたマーケットサウンディングの結果についてご説明させていただき、委員の皆様からご意見を頂戴しているとお聞きしております。

本日は、前回いただいたご意見を踏まえまして、改めて区で検討しております、事業内容についてご説明をさせていただいて、皆様には、地域住民という視点で、ご意見、ご提案等賜りたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○杉浦総合調整担当課長

それでは、まちづくりビジョンの推進に係る取組について担当から説明いたします。

○今西事業企画担当課長

事業企画担当課長の今西と申します。よろしく申し上げます。

3月に引き続いてのお話になるのですが、前回時間もない中で少し説明が不足していたのかなと思ひまして、今回改めまして、矢田南部のまちづくりに関連して公園が再整備されますことについて区民の皆様の感覚でご意見をいただきたいと思ひ、本日資料を作っております。

繰り返しになるんですけど、東住吉区の南部、矢田の南部地域に約3万5000平米の未利用地がありました。それを一体的に売却するにあたって、併せてまちづくりの視点で区画整理を行っています。公園の場所・形を変えて、新たに整備するという事業が今進んでいます。公園っていうのも、もともと、ちょっと小山みたいな形をしている公園で、作ってから時間がたつので、周りを高い木が囲って、なかなか周りがあまり見えないような公園になっていました。

それに加えてですね、その周辺に、施設がいっぱいあったのですが、事業廃止に伴ってすべて無人になったこと、なおかつ公園だけが残っている状態になっていて、なかなか利用も進んでないというような状況でした。

今回改めてまちづくりする中で、新しく物流施設がこの未利用地に建設されるのですが、公園の方もそれに合わせて再整備をすることで地域にもっと開かれる。この間、スポーツグラウンドとしての活用もして、暫定的な価値を見せた地域でもありますので、そういう視点をここに入れられないかなということで公園を再整備しています。

資料の2枚目を見てほしいのですが、今こういう形で公園を整備するにあたって、我々区役所は公園の管理者ではないので、大阪市の建設局という局が、区画整理をやる民間事業者と調整しながら、こういう形で協議をしている最中です。この中でも、このグレーに塗った部分に多目的広場が整備される予定になっていますけども、今のままでしたら、区内で言えば白鷺公園の中にフェンスで囲った広場があるんですけど、ああいうものがこのグレーのところに整備されることになります。管理につきましては、白鷺公園の場合オーパスという予約システムを使って利用調整します。具体的には、1面2時間3000円という形で申請をして、それに対して優先使用許可を出すという形になっております。使っていない場合はそのままの状態ということになります。

それはそれでいいのかなあとは思っているんですけど、一方で、もともとあった公園を方向性も変えて再整備するにあたって、やっぱりもっと、地域に対してメリット、付加価値があるような公園にすべきじゃないかなあ我々は思っています。そのために、民間事業者等に対して公園のこのグレーのエリアを使って何ができますかねっていうのをヒアリングしたのが、前回3月に説明させていただいたマーケットサウンディングの結果になります。

結論としては、このエリアを民間事業者さんの視点で見たときに、このグレーの部分を単なる広場として使うんじゃないくて、多目的スポーツで使えるような施設を自分たちが整備して運営をするという、ご提案がありました。

当然、民間事業者さんが入りますので有料施設にはなるんですが、もともと有料の多目的広場になる予定ですので、視点としては同じになります。

付加価値の点で言えば、例えば白鷺公園の柵のついた他目的広場は基本無人なんです。使うときに、公園事務所に鍵をもらって開けて入っていく、で終わったら閉めて出ていく。

民間事業者さんの提案ではこのエリアに有人のスポーツ施設を整備すると。なおかつ、公園への配慮として、例えば公園の中で遊具が壊れているの発見したっていう通報があればそれを公園事務所にすぐ連絡しますよとか、不審者がいたらすぐ通報しますよという形で、一定公園の管理にも寄与するような、ご提案がありました。

我々としても、何もせずにこのまま整備すると、単に貸し部屋みたいなものが公園の中に発生するので、あまり地域にメリットないのかなと。ユーザーに対しては当然同じような視点で、ここを目的として使う方に関しては同じですけど、周辺住民とか、公園利用者に対するメリットっていうのはあまり感じられないなと思っているので、区役所でできることが何があるかなっていうのを考えた結果、このエリアを区長が建設局から借りて、民間事業者を公募して、先ほど言ったような施設を整備してもらって、公園利用者であるとか、周辺地域に対してプラスになるようなことも付加価値的にやっていただけないかなというのを公募したいなと思っています。

今日皆さんにお聞きしたいのは、都市公園というのは、基本整備するのは行政です。維持管理するのも行政です。市民の皆様はユーザーで公園を利用する。昨今の日本の方向性としてはこういう公共施設に対して民間事業者が入ってくることで、付加価値をつけるっていうのがあります。

この付加価値を、どういうものを求めていったら、ユーザーに対してメリットが感じられるようになるのかなというご意見をいただきたいと思います。説明としては以上となりますが、あとはこの後また、お話する中で説明していきたいと思っています。

現在の開発状況としては、この資料にある状態を目指して、今、もともとあった建物を全部つぶして更地になっている状態です。

ピンクの部分が大和川堤防の一番上なんですけど、北に向かってなだらかな傾斜がつくように今土砂を盛っていつている最中です。今年の12月ぐらいには大体の造形成ができ上がってきて、来年の6月ぐらいには公園の形が出来上がる予定になっています。

そうすると、今後、グレーのエリアは多目的広場としてフェンスが設置されていくことになるので、我々がこのグレーの部分を活用して何かをしようとすると、今年度中には事業者の選定ができないと、ちょっと間に合わない状況です。

大和川東公園がこのピンクの部分なんですけど、ずっと住吉区の方から伸びてきている河川の堤防のこの法面の部分に広がっている公園です。ここは今、桜並木がずっと続いてい

る状態で、ご存じの方はわかると思うんですけど結構草や木が伸びている状態で、なかなか憩える状態にはなっていないなあという公園です。もう大阪市の公園は大体そんな感じにはなりつつあるんです。公園が出来上がったときは綺麗なんですけど、徐々にそんな状況になっていくのかなあっていう懸念も僕らは思っています、そこへちょっと手を入れることで、綺麗に工事されたもうちょっと居心地のいい公園が長期的にわたって維持できるというふうに思います。

この前もちょっと見に行ってきたんですけど、今建物が何もなくなってるので、この堤防からハルカスが見える状態になっていまして、すごく抜け感のあるエリアになっています。

せっかくのこのような立地を生かして、やっぱりそこにプラスアルファを持っていきたいというふう思っています。

例えば、地域に白鷺公園を抱えておられる三原委員に伺いたいのですが、白鷺公園はどんな状況でしょうか。

○三原委員

白鷺公園もご承知のとおり、昭和53年7月に大阪市に移管された。それまでは、平野区画整理組合というところが区画整理したとき、地域の地元の方が、土地とか畑とかそういうところを寄付されたということで作られた公園だと思います。

我々の東住吉区育和連合の中で、白鷺公園それから育和公園・うるし堤公園・今林公園・西公園ですね。この5つが区画整理のときに地域の公園ということで作られその中で、白鷺公園が一番大きいです。昭和5年前後からの計画で、開園は昭和14年ぐらいだと思います。だから今の木も全部その時代の木が茂っておりまして、ご承知のとおり、平成30年9月台風19号のときに長居公園と同じように白鷺公園の大木も倒れたというふうな形跡で、それが、当初は公園愛護会がずっと活動しておりましたが、公園愛護会の役員の方がお年寄りになられて、令和4年3月建設局に返還されたんです。それでは駄目だということで、地域の有志の協力で令和4年9月に公園愛護会を立ち上げました。

その時に私が委員長に任命され、地域の方約50名の方に会員になっていただき、毎月第1土曜、第3土曜日に1回で25名から30名ぐらい、今もやっております。そういうような整備を今やっている途中でございます。

ただし、ご承知のとおり長居公園とか天王寺のてんしばは、莫大なお金を投資されて立派になっています。普通の公園では、なかなかそれが今出来ていないように思います。何とか、こういう機会でも我々もそういう整備の中でやっていただきたいといます。

将来的には多分、この大和川に沿って昔貨物線だったところは今はまだ何にも整備されてませんが、こういう土地を利用して、てんしばみたいな形にするんじゃないかなというふうに思っています。

○今西事業企画担当課長

今話のあった、てんしばと長居公園ですけど、あれは、パークマネジメントっていう仕組みを使ってやっています。厳密に言うと、2種類の違うことをやっています。

長居公園は、指定管理という枠組みの中で選任された指定管理者が、自主事業で儲けつつその利益を公園に対して投資することでにぎわい創出をしている、というのが長居公園です。

てんしばは、真ん中に芝生広場があるんですけど、芝生を含めて、近鉄不動産が管理許可っていう制度を使っています。管理許可っていうのは、都市公園法に、お金を払って管理するという制度があるんですけど、その制度を使って天王寺公園一面全体を近鉄不動産が管理をしています。お金を払って管理している、プラス、設置許可っていう制度を使って、レストランとか飲食店を公園内に設置することで、その売り上げを使って管理費に回すということで芝生を維持しています。他の普通の公園っていうのは、大阪市が大阪市の予算を使って直営で管理しています。そこが違いで、この矢田教育の森公園も、このグレーのエリアを含めて、今はすべて直営公園として整備する方向です。

なので、この辺の遊具とかがある北側のブロックや園内の通路とかもすべて、建設局が管理していく。例えば除草やごみ拾いなどは建設局でやっていきます。公園全体の管理は公園管理者ではないので区役所ではできません。このグレーのエリアだけが今我々が手を出せる範囲かと思っていて、このエリアだけ使って何かできること、そこにプラス付加価値で周辺への滲み出しができるかなという状況です。

ちなみに、昔の矢田教育の森公園に行ったことのある方おられますか。

○三原委員

昔野球とかソフトボール場だったところですか。

○今西事業企画担当課長

そこは公園の南側になるので違います。公園の中の四角いゲートボールができる場所です。

あの状態だとなかなかこう人が入りにくい。

もともとは、周辺に青少年会館であるとか市民交流センターであるとかいろんな施設があって、多分そこを利用する方々が憩える場所として役割があったというのは、僕らも思っているんですけど、施設が廃止されてしまったので、そもそも使う人がなくなったというのが今回の発端です。今のところ、周辺の地域とか公園の利用者に対して、何かしらの貢献をしていただかないと、我々としても区役所が公園行政に対して手を突っ込んでいく理由にならないと思っています。我々は今、民間事業者からの提案は聞いていますが、一区民の立場で、自分たちの近所の公園でもいいんですけど、こういうところが今困ってるとか、こういうところが課題になっていて、それが改善するのであれば、ここに落とし込めたいと思っています。矢田教育の森公園はご存じない方もいると思うので、ご自分の家の近く

の公園でもいいと思うんですけど。

先ほど三原委員から、維持管理の点で地域の課題がという話があったと思います。

○三原委員

維持管理費で今大阪市建設局から貰ってますので、年間8万5000円。

それはお茶代、記念品、軍手とか、箒とか、いろんなことでたった8万円。一般の公園は最高が8万5000円。一般の普通の公園のところに聞いてみたところ、白鷺公園の四分の1ぐらいの広さのところでも8万円ぐらい貰ってる。今さっきも言いましたように、我々はお茶代だけで1回に20人から30人ぐらいいるので、すぐに費用が終わってしまいます。箒とかホースとかを買う予算がないということになります。それと同時に、公園の雑草ですね。草刈とかは、業者に委託されている。それは多分ね、年間契約で何百万というお金を使っているとしますね。そういうものを、言ったら悪いですけどシルバー、我々地域の方にこれだけやれば、いくらか補助金出しますよというような形の、業者とのタイアップがあれば。

全般的に全部地域では難しいと思いますけども、ある面ではこれは毎日やらないかんことについては、地元の管理、我々委員の中でやると、そういうことで施設でお金をもらうというふうにしていかないとね。今の状態でいくとね、ああいう立派な公園が、全然誰も維持管理をやらなくなる。今はもう何とかせなあかんいうことでやっておりますけどみんな高齢化していますんで、若い人をもっていくためには、そういうことも考えて、どうしていったらいいかな。例えば、シルバーなどの施設がありますね。そういった方は大体時給制1時間1000円ぐらいでやっておられるんで、我々でもいろんなことを、例えばうちの例で言いますと地蔵さんの管理、ろうそくと線香、それからお掃除、大体1時間で1000円ぐらい払ってるんです。それに手数料をシルバーに払ってます、1回来てもらったら1200円ぐらいかな。そういうような形の中で同じような方法を考えていったらね、もっとうまく利用できるかなあというふうに思ってます。

参考になるかどうかわかりませんが、せっかく立派な公園がありながら管理場所もありません。実は昔は管理人もいて今も管理棟が立ってるんですけどね。そこが無人だったもんですから、勝手に夜中に入ってるって大阪市役所に投書された。それで閉鎖するということになりまして、せっかくあるにもかかわらず今は使えないんですよ。問題が起きたもんだから、我々は管理しますと言うてるんですけども、そこで打ち合わせとかしたいというような話をしてるんですけど使えない。根本的に言ったら公園がもっとしっかり管理しておけば、そういう問題はなかったと思いますけど。

そういうことも含めてね、さっきもちょっと課長とお話しさせてもらったんですが、せっかく今度矢田の方で整備されるということであれば、そういうものも含めた形でね、有料は有料でいいと思います。地域でいろんな理解もだけど、地域の方が使ってこれはメリットがあるなと言うことを考えていかないと。てんしばみたいに立派な公園ならいいんですけども、こっちの方はなかなかそういうのが難しい、場所的にもアクセスの問題もあるでしょう

から。

誰でも来れるようなところ、そういうことも含めた形をやっていかないと、良い公園を造ったところで意味ないと思います。

○村田副区長

三原委員がおっしゃったのは、民間の活用という、ノウハウとか人材とか、そういうところも含めて活用してはどうかということですよね。

○三原委員

はい。

○今西事業企画担当課長

ありがとうございます。日本人って、多分パブリックという概念がなかったのが、明治以降パブリックというものが入ってきた。

また改めて、公園というのは本来の概念で言うと、それぞれの市民がそれぞれ尊重しあって、使い分けもしながら維持管理の点でも関わっていたのが、今、この人口も減になっている状況では、行政がすべて100%管理できるかということそれも難しい。先ほど三原委員がおっしゃたように地域で管理できるかということそれはしんどい状況なので、そこにちょっと民間を使うっていうのは1つの手段なのかなと。この間、多分東京なんかは結構先行でいろんなことをやっています。丸川委員はそういう事例とかご存じでしょうか。

○丸川委員

はい。

○今西事業企画担当課長

例えば、なにか事例をご紹介いただけますか。

○丸川委員

事例かどうかというところではあるのですが、前回の議論やここに書いてあることを踏まえて、期待されてる事例をしゃべられないかもしれませんが、確かに民間に任せようというのはあると言えばある。ですが当然、いいことには悪いこともあるっていうところもあるので、ちょっとそこを、皆さん理解を深めたうえで、方向性としてまちづくりビジョンみたいなところも含めて議論を尽くされているっていうところも十分理解はしたうえで、でもよりよい公園にするためにどうしたらいいのかなということをしっかり話し合うということがとても大事だというふうに思います。

ご説明の中でも、今現状というかなかなか人が寄りつきにくいエリアでもあるという、例

えば草とか木とかがぼうぼうだっていう話もありましたけど、おそらくこのグレーのエリアに関しては管理が入るところもあるんですけど、それ以外のところはそのまま市が管理をするっていうことであれば、きっとこれが整備された後もそのレベルで維持されるんだろうなと思うと、そうじゃないようにするためにはじゃあどうやって、っていうことは建設局と区がしっかり勉強しないと多分同じことになるんだろうなというのは、ご説明の中ですごく感じるころはあります。

ということなので、ここのエリアの中をどうしようかという議論だということは重々承知の上で、市側とどう連携していくのか、この周りの住民の皆さんとどう連携するのかっていうのは、多分この矢田の地域の皆さんと一緒に考えていくっていうのが意義だろうなというふうに思っており、そこは皆さんでしっかり議論したらいいのではないかと思います。

○村田副区長

大和川東公園も含めて、公園自体をきちんと整備していきたい。

○丸川委員

ただ、人が寄り付かなくなったら結局一緒じゃないかなっていう気もするので、何かそこはどうやっていこうかなというものの連携をお願いしたいという意見です。

○今西事業企画担当課長

てんしばみたいに100%全部管理してもらうとなると、おっしゃるとおり、立地的にもバリューがないので、そこまでの儲けがないから民間事業者がそこまでできません。

大体3,700平米あるんですけど、グレーのエリアの中だけであればまだ商売の可能性もありますよねって言ってくれてるのが1社だけいます。

どこまで管理するかとか、メリットがあるか、なおかつ、民間事業者がしっかりと自立して10年、20年、商売できるかっていうところが今回の肝かなと思っております。

○丸川委員

今回公募されて民間事業者で整備をするってところは、全体として事業も大きくなるのでそれなりにうまみが出るので民間事業者が手をあげるんですけど、管理をするってところは結局薄い話になってしまうので、その民間事業者さんがいなくなったら、じゃあそのあとどうするのか。やっぱりここは当然民間なので、期限を決めて利益が出る中でやるっていうことになるとは思うので、そこをきちんと公募の中で、きちんと対話してやりとりをして決めていくっていうのが、私はいつも選ばれる側、提案する側なので、何か結局その事業の切れ目が縁の切れ目になってしまった後みたいなことは、どうしても10年20年先どうなるかっていうところは民間事業者自身も予測できない話で、やめましたってことで当然あり得ると思います。その中でじゃあどうやって、ここのエリアについて区と市も含

めて考えていくかっていうところもしっかり見て、その予測は可能なので、無理だとは思いますが、それでも意識をする必要があるかなと思ってます。

○今西事業企画担当課長

単にグレーのエリアだけで商売しませんかというのはあまり意味がないのかなと思いついて、どっちかという地域と連携してもらって、例えば有償無償の何かメリットが、地域、例えば先ほど言った公園愛護会が、今はないんですけどこれができ上がったときに、拠点的にちょっと場所を提供しますよとか、金銭的にそこまで出せるかちょっとわからないんですけど、連携しますよみたいなことを言っていただけたらいいかなあと考えています。あんまり言い出すと、向こうも手をあげてこないというのもあるので、それ以外で、例えば普段の生活の中で公園を見ていて、こういうところがもうちょっとこうなったらいいなっていうのがあれば、そういうご意見も聞きたいと思っております。

○田村委員

子どもが小さい時に公園に行く機会は多かったんですけど、やっぱり一番の問題はトイレ問題、あとやっぱり、見通しがいいかどうか。

どうしても、子どもが小さいうちはずっと横についてますけど、大きくなってくると、子どもたちが遊んでるときにずっと横におらないといけなかっていうと、もうブランコも一緒にできないです。子どもたちだけで行ったときに木がそれこそ生い茂っていたら、どこで何してるかわからないので、子どもを見るっていうよりも大人を見ないといけない。

変な人が居るかどうかっていうのを見ないといけなくなってくるので、要は明かりがあるかどうか、見通しがいいか、簡単に自転車が入れるような状況か。公園においてはそこが一番気になる点です。

○今西事業企画担当課長

基本、24区の標準的な公園管理のレベルでいうと、おっしゃってるようなものが全部満たされるかというところ難しいところがあるかもしれません。例えば、木が生い茂るっていうのは時間がたてば木が大きくなっていくので、多分見通しは悪くなっていく。

そして、一番デメリットになるのがそのまま無人になっているということです。

区の一番端で大和川に面しているところなので、普段からあまり人がいないんです。

そこに無人の施設ができると、草の問題も含めて、ちょっと治安的な課題がでてくるのではと僕らは思っているので、そこは条件に入りたい。

せっかく提案していただいているので、例えば不審者がいたときに公園事務所と迅速な連絡ができるような体制を作ることを条件に入れる。

あと、トイレに関しても、もともとの矢田の教育の森公園にはトイレがあったので、新たにトイレを整備してもらって。ただ、そのトイレすらいたずらされたりこわされたりで、結構

よくあることなので、そこはちょっと巡回じゃないですけど、気がついたら通報してくださいとするなど。

○三原委員

トイレの話が出ましたが、今白鷺公園でも週に二回清掃に来るんです。来てるときはいんですが即駄目になります。月曜日なんてもう使えません。そういうふうな状態です。

毎日やらないといけない。我々が居るときは女性の方がやってくれるんですが、若い人はやりません。

手洗いのところにある鏡は取られてもう全部ありません。三角公園でもどこでもありません。結構人がいるので白鷺公園では残ってますが、育和公園にしたってどこにしたって、お手洗いのあるところはもう鏡なんてありません、放火をされたこともあります。

そんな状態でやっぱり治安の問題、子どもの問題で、昔は公園には防犯カメラつけたらいかんと、要するにプライバシーの問題。でも今はつけてもいいようになっています。

防犯カメラを自販機に設置してね、これも僕らが提案して。初めはもう防犯カメラはけしからんというようなことでね。やっぱり子ども見守り隊など今いろんな人がいらっしやるんで。

それも含めてね、やっぱりやってあげないといけないというふうに思います。

その管理をいかに一般の我々がするとか、地域の人がするというのは、もう昔みたいにボランティア精神ありません。僕はずっと青少年指導員や福祉委員もやり、いろんなことやってきましたけど、今は昔みたいなことは絶対ありません。もうほとんどはやらない。

やっぱりその辺も含めてやっていかないと。行政がやるのか、民間事業者に委託した場合にそういうところまでできるような体制づくりをしていかないと難しいと思います。

人の大勢来るてんしばや、長居公園は約20年計画の中でやってます、ああいう形はいいと思いますけど、なかなか難しい。

○村田副区長

ありがとうございます。他の皆さんで、井本委員はどうですか。働いていてどうでしょうか。

大和川のあの土手の抜け感とか空が広いですね。そういうところを、なんかそのままいい感じで置いておきたいなという気が僕らはするんですけども。

○井本委員

今お話聞く中で、人が集まるようにしないといけないのかなっていうところと、大切に使うためにはどうしたらいいのかなっていうのが課題なのかなっていうのをちょっと感じていまして。みんなが大切にしようと思ったら、イベントごとであったりお祭りだとか、それをまちおこしで使えたりとかっていうことで、作れたらいいのかなと思ったりはし

ます。

あそこ自体人が集まらないっていうのもあるかもしれないですけど、じゃあ集まらなかったらつまらないでいいのかっていう話ではなく、集められるように何かしないといけないのかなっていうのは思いました。

○今西事業企画担当課長

今は無人なんですけど、物流施設が2年後ぐらいに2棟建ちます。そこが物流の単なる箱じゃなくて、物流施設の中で作業をしたり在庫管理をするような形で、かなりの人間をパートタイムではあるんですけど雇用するということで、大体800人ぐらいの人間がここにやってくるというのが想定されるので、そういう方々も利用者の1人になる。

周辺地域も含めて新たな人の流れができると思っているので、おっしゃっているように、例えばイベント的なものをこの公園を使って積極的にやっていくっていうのは、ハード整備プラスソフトの取り組みというのはありだと。その民間事業者が求めるものを我々役所がやるのかっていうのは、ちょっと今後の検討かと思います。

○村田副区長

矢田のまちづくりの中で、矢田のエリアを中心に、お住まいの方あるいは働いている方、その方々と一緒にエリアのまちづくりと多分セットになってくるかと。おっしゃるとおりだと思います。

物流施設は約800人が働きに来るけども、住んでる人働いてる人がその町をどう思うか、その公園をどう思うか、大事に使おうと思うか、そういうところかなと思います。

○竹村委員

アクセス問題がすごくあると思っています。毎週大和川に行ってるんですけど、東住吉区の北側に住んでいる人は長居公園の方に行かないと思います。立ち位置をどうするのか、この辺だってそう住宅もないし、その辺が課題ではないかと思います。

○今西事業企画担当課長

もともと、都市公園の種類でいうと近隣公園っていう種別の公園があります。東住吉区で近隣公園が3つあって、白鷺公園と矢田公園っていうところなんですけど、近隣公園とは何かというと2キロ四方ぐらいの住民を対象にした公園。なので、本来であれば、この矢田教育の森公園は、矢田4丁目5丁目と線路渡って向こうの住道矢田に入るぐらいをターゲットにしてるんですけど、すぐ横に矢田公園っていうグランドのある公園があるんです。そこと誘致権がかぶってたりします。

長居公園も意外と近くて、長居公園の誘致権ってもっと広くって数キロある誘致権なんで、もう円がかぶってる状態なので、じゃあここ近隣公園のまま行くのかみたいな議論もあ

ったんですが、なかなかそう位置付け変えるって難しいんで一旦近隣公園にしています。

ただ、ポテンシャルとして、端っこであるがゆえに、思い切ってスポーツに特化するっていうのは、騒音問題とか、灯りの問題っていうのは逆に言うとクリアできるので、例えば夜遅くまでフットサルやりたいって言ったときに、住宅地のど真ん中でそれやると、やっぱ灯りの問題が出てくるんですけど、これって南側がすぐ川で横が倉庫なんで、あまり問題がないということでスポーツっていう軸で考えています。だから立ち位置としては、近隣公園なんですけど、外から目的を持って来る人も受け入れられるということで、ここに駐車場っていうのをイメージして作っている。ただ、おっしゃるように、お客さんとして来るかっていうと、ここはじゃあもう運営するところの腕にかかってくるのかなというのがあります。我々も当然、スポーツ施設に関して言えば、誘致権の外から来るのもありだと思います。ただ、他の無料の公園部分、この遊具があるとかっていう部分は、あくまでも近隣の方々の近い公園なんで、この市営住宅とか、住道の方とかもうちょっと北の市営住宅の辺りとかが来られるのかと思っています。

○竹村委員

スポーツとするのは、それで1つのビジョンとしていいと思うんですけど、漫然とやっちゃうといけないと思います。

○今西事業企画担当課長

そのとおりで、戦略がいると思います。

○竹村委員

例えば松原のスケートパークですとか、大泉の自転車であつたり、そこからオリンピック選手がでたりしているので、何かしら特化しないとわざわざ行く理由はない。

○村田副区長

周りから来れるような、それなりの広さとかこのエリアを取れるような、ちょっとエッジの効いたような、そんなスポーツができる遊びができる場所っていうのは、確かにそうかなと思います。

○今西事業企画担当課長

端っこであるがゆえに目的性が高い種目なり何なりしないと人が来ないのだろうと、僕らもそう思ってます。サウンディングで提案のあった民間事業者もそれは理解していますので、彼らの思いとしては、スポーツ施設をやろうとすると一番客層が薄いのが平日昼間です。土曜日、日曜日と平日夜は一定数客が来るんですけど、平日昼間は、例えば地域の老人クラブとか、ゲートボールサークルとかに、格安にするのか無償にするのかは別として、貸し施

設として使えるようなしつらえにするとか、あと近隣に保育園幼稚園が幾つかあり、園庭が小さいところがあるので、運動会するときに貸しましょうかという提案もしてくれています。

○村田副区長

空いているときはそれでいいんですけども、竹村委員のおっしゃるようにちょっとエッジのきいた遊びができる、スポーツができる場所というのが1つ考えられる。

○佐藤委員

このカラーの方の写真で見た健康器具みたいなものがいろいろある辺りとかはどのようなふうにするのでしょうか。これは今回対象ではないのですかね。

○村田副区長

建設局が公園を造る場合、大体こういう仕様の、よくある標準的なものが出てきます。

○佐藤委員

北欧の方がこういうのとかはやっぱすごくいいっていうふうに言われていて、何かこう面白みがあるとかあるので、そういうのを参考にするとか。ちょっと違ったものを造ると、それはそれで面白いし、定期的に人が来るようなところにはなるかなと。

この地域も高齢化が進んでいる。やっぱりフレイル予防っていうその健康な高齢者の方たちが常に行くと、それで多分自分たちも集まってくる。ボランティア精神の強い人たちが、掃除もね、各自でみんなでしょうっていう話になるかと。なんか今、若い人があんまり掃除しないって話になってるんですけど、やっぱり自分たちの使う公園は掃除しようっていう流れは、やっぱり日本人はもってるんじゃないかって思っています。

あと、先ほどの、ハード面とソフト面っていうところで、ソフト面のところでちょっと小規模な人たちがライブするっていうのが、長居公園ではないけれど、そういうことができるようなものがハード面であればちょっと嬉しいかなと思います。

東住吉区で人気が出るようなバンドとかができれば面白いかなと思います。

○村田副区長

おっしゃっているように、いろんなイベント、例えば人の集まるイベント、ライブやマーケットなど、いろいろできるようにしたいと思います。

○今西事業企画担当課長

区役所が公園管理の分野に口を出すので、ソフト的な部分も含めて公園の利活用を我々

が主体的にやるべきというのは、ご意見として非常に多くなっております。

○三原委員

人が大勢来たらやかましいから駄目だとか、そういう問題対策をどうするかということ。それから、公園愛護会で維持管理をやってましても、他の人から見ると専用で使っているんじゃないかと。全体は使っていなくても一部を使うことによってね。ここは公園だから誰でも使っていんじゃないかというふうな問題。いろいろ器具を設定してもね、初めはいいですけども、多分、そのうちにもう誰も使わなくなります。

だからその辺の、維持管理とかいろんなことを含めてやらないといけません。

初めは新しいから、皆面白がって来るでしょうけども。

それから、公園に倉庫を置きたい言うと景観が悪いと言われてます。そうすると倉庫すら置けない。要するにもう既得権みたいな形で今は言われますので、その辺も含めて維持管理という管理者がいて管理をやっていかないと、いい公園を造ってもなかなか難しいんじゃないかなと、今までの経験で思います。

○今西事業企画担当課長

おっしゃるように、公園に対してファンがつくような取り組みをやっていかないといけないと思っています。それは、ここでスポーツ施設をするだけじゃなくて、それを核として、例えば周辺住民の方々が公園愛護会的な活動をそこでやる、ライブをやる、有志がここで何かイベントをするみたいなことを、募集要項の中で誘致する民間事業者に連携を求めているのもいいのかなと思います。

もっと公園が好きになる人が増えてくれば、例えばごみの話であったり遊具の破損であったりっていうのも、他に比べてマシになるかもしれないと思います。

○三原委員

昔は、花見をやるときとかは結構皆さんどんちゃん騒ぎをやってました。

今ではそういうのができない、やるとうるさい、酒飲んだらだめとかそういう問題があります。それから、バーベキューでも今大仙公園とかは有料でやってますね。そういうところはいいんだけど、白鷺公園とかでやると煙の問題などで絶対にだめなので、地域でそういうことをやるんだったら難しいなと思います。

○今西事業企画担当課長

小坪さんは何かありますでしょうか。

○小坪委員

皆さんのお話を聞いていて、やっぱり人が集まる、わざわざそこに行こうとするためにはど

んなことがいいのかなと考えると、僕は音楽が好きなのですが、なかなか今音楽をやる人がストリートでやると通報されたりするので表現したいけどできる場所がない、ライブハウスではちょっとハードルが高いみたいなのは結構あるんじゃないかなと思うので、そういうのはうまく使えたりとか、何かそれこそプロレス団体が場所を使って青空プロレスなどすると、わりとそれを目当てに来る人も多いと思いますし、トイレもあってとなれば安心して見られると思います。

○今西事業企画担当課長

施設整備の中で、例えばそういうイベントとかに使えるような電源の整備を一緒にしてもらって、それがあることによって他の公園でできないようなことができますというのは、1つメリットになるかもしれません。有人管理であるがゆえのメリットを出せるような条件付けとかであれば我々が口と手をだせるところなんです。

○村田副区長

伊藤委員からはなにかございますでしょうか。

○伊藤委員

この前お話ししていた時に、民間事業者に任せるか普通の公園にするかみたいなお話しだったと思うんですけど、今日お話を聞いていると民間事業者にお願いする前提で話がどんどん進んでいるので、そうなるのが私としては、何をしても皆さんが申し上げる10年後、20年後、は同じになるのと思うので、そこまではする必要がないかなと思っています

○今西事業企画担当課長

今の段階で言うと、このまま普通の公園になります。

ただチャレンジをしたいなと正直思っています。今のままでいくと、多分あまりよろしくない状態に最終なるのかなっていう想像がつくので、まずはチャレンジをしたいなと。

チャレンジした結果民間事業者がどこもきませんでしたとなれば、結局この図面のようになるので、それは仕方ないと。

ただ何もしないよりは、今の段階ではやってみたいなというのは正直思っています。

やるのであれば、今日いろんなご意見をいただいたので皆さんの意見を反映させて。ただソフト的な部分で言えば、仮に民間事業者がだめだったとしても我々ができるところもありますから、それはそれとして、そのあたりを含めてこの公園の方向については区役所も積極的に関与していきたいと思っています。

○伊藤委員

有料にするというのがイメージがわからないんですけど、何かフェンスで囲む形ですか。

○今西事業企画担当課長

例えば資料にある磯路中央公園、こういったものが出来あがるんです。柵で囲ってあって鍵が閉めてあって、使いたい人は建設局に申し込んで、お金を払って鍵を開け閉めしてという流れです。

民間事業者に造らせた場合はいわゆるスポーツ施設ができ上がる可能性がある。何かしらの建物ができて、そこに事務所ができて人がいて。例えばフットサルのグラウンドを作るのであれば、一時間何円かで貸す。ただ、その使い方は民間事業者さんのアイデアによるので、例えば完璧に100%貸し出しするときもあれば、全面を無償で開放するっていうときもあって、そこはビジネスのやり方。やり方としては常に同じではないと思います。

○伊藤委員

フットサルに特化した施設とかになると、地域の人が使いたいとなったときはどうするのでしょうか。

○今西事業企画担当課長

今提案があるのは、可動式というか多目的に使えるようなものを想定しているみたいですね。フットサルだけにしてしまった場合他のエリアと差異がつかないとお客さんが来ないので、あるときはフットサル、あるときはミニ運動会、あるときはサッカー、あるときはバスケットみたいな感じで変えられるようなものを考えているみたいです。

○三原委員

長居公園にアスレチックみたいなものができてるでしょ。ああいうのは活動的には利用されてるんですか。土曜日曜は別にして平日とかは。

○今西事業企画担当課長

利用実態をきっちり聞いていないんですけど、あれは他の都道府県でもある冒険の森という会社がやってる樹上アスレチックです。非常に多くの人がいるようには見えないんですけど、3年経っていますが撤退しないってことはそれなりに一応お金はまわっているのかなと思います。

○三原委員

最近、小学校、中学校にしても体力がないと思う。運動場が狭いということと、それから、学校でね、小学校だったら昔はソフトボールとかしていた、こういうのも今は駄目なんです。なぜかという、これは昔生野でバットに当たって死亡する事故があったんです。そういう事件が起きると全部ストップになったんです。

だから今は子ども会が一部ソフトボールをやるだけであって学校ではやっていない。今やっているのはドッジボールぐらいです。だから体力がない。やっぱり教育委員会に話をするとかいろんな形でしないとね。土曜日曜はいいんだけど平日が使われないということで、学校施設で使うとなれば、例えば矢田と4校ありますからそこは定期的に、それに補助金を教育委員会に出してもらうとか、そういうふうなやり方をやっていかないとね。

維持管理は当初はいいですけども、なかなか継続しないんじゃないかな。ボランティアでやるんじゃなくて、なかなかそれも難しい問題だと思います。

○村田副区長

基本我々のしたいことは、このエリアをどうのこうの、アーバンスポーツゾーンというグレーのところをどうにかしたいということだけじゃないんですね。この矢田の町をどうするか、先ほどおっしゃったようなこのまちが好きだよねと思うような町にするために、これを使いたいなというふうに思ってます。

ただ、ここでエッジのきいたと言いましたけども、それだけじゃないエッジのきいた町になればいいなと思います。

そういうことを僕らは考えて、いろいろと民間事業者さんとあたってみたいなと思います。

○三原委員

遠いから、一番端だからね。アクセスにはやっぱり問題があるんじゃないかな。

○今西事業企画担当課長

そこはバランスが要るのかなと思います。

丸川委員からはなにかございますでしょうか。

○丸川委員

最近私も子どもが1歳2ヶ月で公園に行くんです。

私は住之江区なのでちょっと西の方ですけど、公園に行くとごみがあって、公園にいるんだったらごみ拾えばいいやって思いトングと袋をもって拾います。せつかく自分が使うから、綺麗にしていったら周りの人からしても嬉しいなみたいなものもあるんですよ。そういうことのような気がします。

民間事業者に清掃させようとかあるいは市が管理しようとか、それは確かに誰か管理する必要があるんですけど。そうやって、地域でもそれはボランティアかって言われたら、別にいるからやってるだけの話であって、みんながそういうふうなことができてくるとすごくいいなと思っています。

感想ベースですがそういうふうに思っています。それが、公園が好き町が好きですって

うそういう話のような気がしていて、自分たちが使うところを自分たちで綺麗にするっていう挙動ができるようになるというのが、すごく町としていいまちになるんじゃないかなって気はします。

○今西事業企画担当課長

公園というのは維持管理をする立場からすると、良い悪いでしか言えない。しかし本来であれば何でもできる空間で、利用者同士がお互いさまの世界で成り立っている施設になります。公園って非常に難しい交流施設だと思います。

普通の箱ものだったら管理者がいます。でも管理者が常駐してなくて、使ってる人たちがお互いさまに使ってる空間なので、だめな方向に流れ出すとすぐにだめになる。逆にうまくいってるところはうまくいくんですけど、やっぱりうまいこといかせたいなと僕らも思っています。でも僕らがあれやれこれやれって言うのは、それは違うと思うんですね。

そういう自主的に掃除してくれる方を増やすとかってというのは、やっぱり地元さんが動いた方が絶対動きやすい。僕らがやってくださいねというと、なんぼくれるのかって話になってしまいますので。そういうふうに持っていきたいなと思います。

○三原委員

だけど、一緒に管理しましょう我々もボランティアでやっていますと言っても、なかなか手伝ってくれない人が多い。いろいろな人がいるので難しい面もある。

○今西事業企画担当課長

ご意見ありがとうございます。

○杉浦総合調整担当課長

他に皆さまご意見などございませんでしょうか。

○竹村委員

アーバンスポーツゾーンっていう多目的広場があったと思うのですが、民間事業者さんが入る場合ここは室内になるのでしょうか。

○今西事業企画担当課長

民間事業者が入る場合は、その民間事業者の提案にもよりますが、今マーケットサウンディングで聞いているのは、屋根がついて壁があまりない抜け感がある形で考えています。

具体的に何ができるかっていうのは公募してみないとわからないんですけど、今のところの提案では、屋根がついてる平地の広場的なものに事務所がくっつくようなもの。その屋根の話もいろいろあって、屋根をつけないっていうのは当然公園としては見晴らしは良く

なるんですけど、雨で使えないっていうデメリットも逆にあって、メリットとデメリットどっち取るかになります。

だからなるべくガチッとした真っ黒な屋根のついた真四角な箱ができるのではなくて、公園にマッチした外観っていうことは求めないといけないのかなと思っています。

建物が建っていると公園感は減ってしまうんです。長居公園も駅に近い方は箱が並んでいる。ただあそこは面積も大きいのであんまり気にならないんです。

○杉浦総合調整担当課長

それでは、最後に議員の皆さんから何か一言ずついただけますでしょうか。

○辻議員

大和川東公園のネットワークゾーンなどでなにかできないのか、活用していただけたらと思います。たまにここに行くんですけどあまり人がいない。だから、にぎやかしてその民間の民間事業者さんの知恵でね。

矢田では、矢田のまつりというのを毎年やっていたがもうだいぶやってない。五、六年前まではやってたんですけど。1年に1回、矢田のまつりはやっていて、大規模でやってたんですけど、そういった活性化策も含めてちょっと考えていただきたいです。

まずはこの灰色の部分に、民間事業者さんが手を挙げてくれるかということです。手を上げてくれなければまた違う方法を考えて、単なる建設局の管理の公園は駄目です。民間に指定管理やってくれとずっと言っているんですけど、大規模な公園だけじゃなくて、中小規模の公園をね。他都市では指定管理何ヶ所かやって、キッチンカー置いたりイベントやったりマルシェやったり、工夫をしてくれるんですよやっぱり。

そういったうえで管理の部分で全く職員の数足りてないので、年に3回ぐらいしかこない。契約してる業者さん年に3回ぐらいしかこないですからね、結局自分たちが刈るんです。そんな無駄なことをやるよりは、きちっと管理してくれるような業者さんと提携していただくのと、今ちょっとネットで調べたら、NPO法人で公園の活性化に取り組んでる団体が非常に増えてきているので、NPOさんでやっていただけるんやったらまたそこはね、地域の皆さんと連携とってやるとか、とにかく新しい試みを東住吉でやっていただいて、それが大阪中に広がっていけばすごいんじゃないかと思います。

非常に今日、皆さんのお話、いろいろアイデア聞いて思いましたので、引き続きお力いただきますようお願いいたします。

○田辺議員

皆さん今本当に貴重なご意見ありがとうございます。

前回の会議の時に、ここでもともとラスパ大阪っていうのがあって、誰も買い手もつかな

いし、その他の未利用施設を壊すのにもお金がないということでどうしようかと言ったときに、当時の、七、八年ぐらい前ですかね、この区政会議のまちづくり部会の委員の皆さんが、地域を歩いていただいて矢田教育の森公園を見て、この公園ほとんど誰も使ってなくて木が茂っているとご意見があって、それがヒントになってまちづくりという形で進んできました。

今日は私この件については何も申し上げないんですけど、委員の皆さんにお願いしたい。区政会議って我々議員はですね、基本的なその会議の議論のところに意見を出すものではなくて、皆さんのご意見が区政に反映されるというものになるので、あまり私が区役所にこれをやってくださいっていうのはちょっと筋が違うので委員の皆さんにお願いしようかなと思います。

実際、ここではないんですけど、もともとJRの阪和線が走っていた高架になった跡地がですねずっとフェンスで囲われています。あんまり詳細は申しませんが、車を通す道として一応都市計画を打ってるんですけど、遊歩道にしたほうがいいだろうとかいう話になっていて、もう25年ぐらいフェンスに囲まれたままです。

お近くの方もお近くの方じゃない方もいらっしゃるかもしれないんですけど、今建設局と話ができているのは、もうとにかく道通せないの、今のフェンスで囲ったままではちょっと不細工だし誰も使えないしってということで、暫定的にポイントポイントで使えるところがあったら使えるようにしていきましょう、という話には一応なってます。例えばJR長居駅では駐輪場になっていたり、阿倍野区だと近隣の方が地域菜園みたいな形で本当に花が増えてあるんですよ。

東住吉区もおそらく、今年度来年度から鶴ヶ丘の駅も整備されてくると思うんですけど、そういうのがたくさん残ってるんですよ。それで、それをいろいろ考えたんですけどなかなか打ち手がなくて、もし委員の皆さんが関心をお持ちであれば、ちょっと今年度どこかで、まちづくり部会でですね、皆さん関心検討をお持ちいただけたらなと思います。

東住吉区の中にそういうね、まちづくりという面からするとそういう課題も残ってますよということを、皆さんにちょっとお伝えして気持ちを共有していただきたいなと。

それと、やっぱり地域の公園は大変な問題なんですよ。昔みたいに子どもが多くないですし、辻先生がおっしゃったように全然管理も行き届いてないので、この辺りについてもですね、我々が思いつかない皆さん方の目線で、何か貴重なご意見をいただけたらなというふうに思います。

皆さん、今日はありがとうございました。

○ 瀧上議員

皆さんお疲れ様です。

私はこれを聞いていて、こうなればいいなっていうのを、皆さん思いながらお話をされて

いるということですので前向きだなと思いました。

これって、見ていると公園があつて、民間事業者が来るか来ないかというのは別にして、公園があつて道路挟んだら体育館もあつて、実はスポーツにはすごく連携ができてるのかなっていうふうに思っています。もし民間事業者が来なかったとしても、室内はこっちでやってね、外ではこっちに行きますよ、なんならちょっと遠いけれども長居公園行けますよっていう、実は施設連携っていうのはスポーツでできるのかなと思っています。

にぎわいと活力のゾーンのところで、年間 800 人が雇用されるという事で随分変わるんだろうなと思います。一番私が避けたいなと思っているのが、不法投棄が増えていったりするのが一番嫌なんですよ。それで人が寄りつかなくなっていくって、それが負の連鎖になるっていうのは避けたい。どうにか明るい地域にしたいなと。

そのためには、先ほど今西課長からありましたように、いくらでも明るくしてもいいんだみたいな話があつたので、そこを逆手にとって何ができるか私ちょっと考えたんですが、ボルダリングとか、縦に長いだけなので、ボルダリング人口もあるからそれこそ松原からも来ます市内からも来ますというような、何か1つ目玉になるようなもの、スポーツの1個としても面白いのかなというふうに思いました。

先ほども辻先生もおっしゃったように、キッチンカーとかが来たらすごくにぎわうし、そういうのを来た人が見て、こんなまちづくりしてるんだ、スポーツこんなんでできるんだ、子育てしやすいな、それで人が来るっていうのが一番いいと思います。これはしょうがないかなと思うんですけど、駅からちょっと歩かなきゃいけない距離なので、駅からはちょっと遠いけれども、こういうところがあつたらこの地域住みやすくなりますよと、松原にも仕事行きやすいですよ、市内にも行きやすいですよっていうような、1つの本当に売りとなるもので持続可能なものができればいいなというふうに思いますので、皆さんの意見を、どうぞ反映していただけるようによろしく願いいたします。

○杉浦総合調整担当課長

どうもありがとうございました。

それでは本日の部会の終了に当たりまして、藤原区長から一言ご挨拶申し上げます。

○藤原区長

皆さん、本日は遅い時間にもかかわらずお集まりいただき、また貴重なご意見やご提案を頂戴いたしまして誠にありがとうございます。

いろいろお聞きしまして、本日いただきましたご意見ご要望、1つは公園の整備等でございますが、これは公園管理者が担当ではございますのでそちらの方には情報提供して参りますけれども、ご議論にありましたように、区としてやっぱりこのエリアなり地域、広い視点を持って、またハード、ソフト両面、長期的視野をもって、しっかりと区としても考え方を持ったうえで、公園管理者なりと協議をしっかりとやっていきたいというふうに思ってお

ります。

また、民間事業者によりますスポーツ施設ということでご提案申し上げました。人が集まるような工夫について、他と差別化とか特化でありますとか、イベント、祭り、まちおこしに繋がるような、そういったこともまさにそのとおりかなというふうに思いますので、地域としてのメリットというものをしっかり意識したうえで、地域住民として求めたい地域貢献なりについては、年度末民間事業者募集をしたいなどは思っておりますけれども、募集要項なりに反映していきたい、検討して参りたいというふうに思っております。

今後、事業の進捗状況等につきまして、適宜区政会議で報告させていただくというふうにしたいと思います。

あとは事務的ですが、次回7月に区政会議を予定しております。

皆様には引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○杉浦総合調整担当課長

それではこれもちまして区政会議第1回まちづくりビジョン部会を終了させていただきます。

皆様どうもありがとうございました。